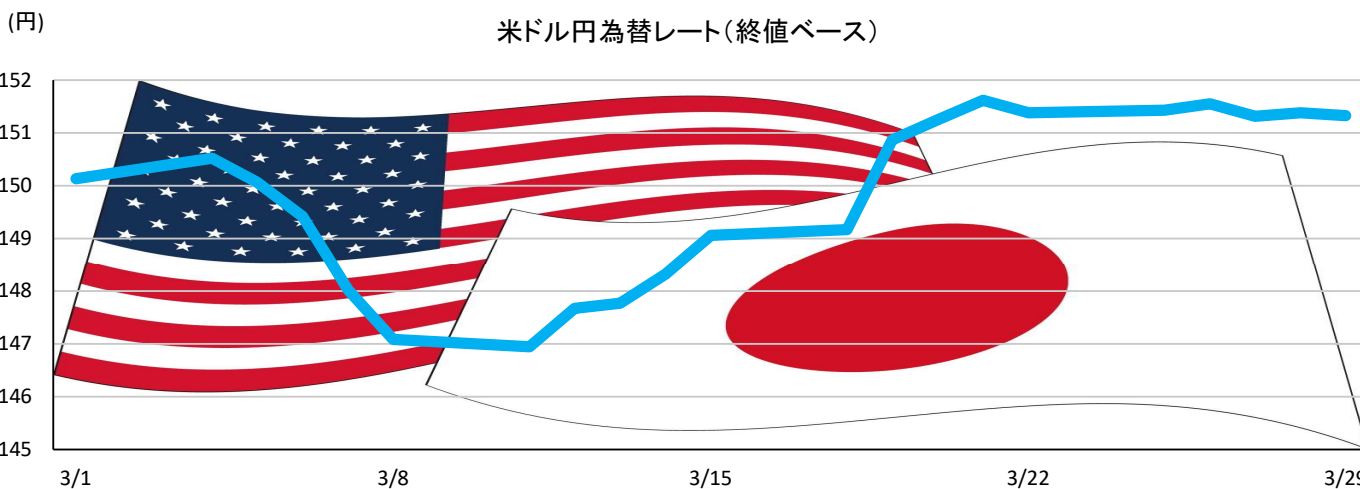


MONTHLY REPORT

先月の振り返り：3月のドル円相場は146円半ば～151円後半で推移。150円台で推移していたドル円相場は、日銀が3月にマイナス金利を解除する見通しとの報道が相次ぎ、146円台まで円高ドル安が進行。しかし、マイナス金利を解除しても積極的な利上げはない、との見方が強まったことや、米利下げ観測が後退したことで一転して円安ドル高となった。日銀金融政策決定会合ではマイナス金利解除を決定したが、金融緩和政策は当面続くことが伝わると円売りが強まり151円台に到達。その後の米FOMCでは年内3回の利下げが示されドル安で反応したが、早期の金利差縮小は考えにくいとの見方から円安ドル高の動きとなり152円が目前に迫った。ただ鈴木財務相や神田財務官などから円安けん制発言が相次いだことで介入警戒感が強まり、151円台で売り買いが交錯する展開だった。



MARKET REVIEW

資源高：急速に普及している生成AI(人工知能)関連の要になっている半導体の原料となるレアメタル、脱炭素社会実現のカギとなる再生可能エネルギーに必要な鉱物資源、コンクリートを使用する建造物の工事に必要な砂など、資源価格が高騰している。先進諸国に加え途上国の経済発展に伴い需要は増加し続けているが、これらの資源に限りがあるため需給がひっ迫し、各国で争奪戦となっていることが価格上昇の要因となっている。世界の経済成長を踏まえると今後も需要は伸びていくことが予想され、長期的には資源価格の上昇傾向が続いていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
4 / 23 (火)	22 : 45	US	購買担当者景気指数 (PMI)	☆☆☆☆
4 / 25 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
4 / 26 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
5 / 2 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
5 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
5 / 15 (水)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
5 / 15 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。